



伊藤東涯
原述男善
韶纂補

操觚字訣

九

ホ 4
2030
9



島田藏書

門 亦 4
號 2030
卷 9

門 〰 20
號 2088
卷 9

操觚字訣卷之九目錄

災異類彙

四編上

寶字

皇朝下干

天文

谷錄彙編

天地乾坤

星辰宿

霞靄

風嵐氣

雷霆電

時運

廣雅不泉

世代

載歲祀年

古昔曩往

今近間頃屬比

暑熱炎暄暖温

寒冷涼凄互

夜宵夕暮昏

操觚字訣卷之九目錄

帛系妻戚反

地理

邦國州郡鄰里閭鄉黨都邑村落丁九

倭和日本丁十

中國中夏中華漢唐唐山丁十一

京師洛陽京兆平安都丁十二

本朝我朝丁十三

山嶽峯嶺岑岡陵阜丁十三

川河水泉丁十四

波濤瀾浪丁十五

江湖池澤丁十五

沖洋丁十六

湊澳丁十六

溝渠丁十六

谷谿谿澗丁十七

隄堤防墳塢陂塘丁十七

崖岸濱汀干丁十八

道路塗行方術丁十九

境界域疆丁廿

石岩丁廿一

墓塚墳壙丁廿一

人品附親屬

國臣國士

皇帝王霸天子陛下至尊上丁廿二

聖賢君子善人丁廿三

君后主公丁廿三

先人先君先子考丁廿五

父母爺孃親丁廿五

妻室丁廿六

伯叔舅姑丁廿五

朋友執執友僚友丁廿七

子息男丁廿六

太子世子嫡子長子元子丁廿八

賓客丁廿七

師先生丁廿九

寡人不佞小子小人丁廿八

壽老耄耄艾強壯丁卅

幼弱稚兒丁卅二

居士處士道人山人野人散人卅三丁

不肖小人佞人惡人丁卅三

人民農氓丁卅三

麗人美人佳人丁卅四

身已親自丁卅四

我吾余予丁卅五

汝爾而若乃丁卅六

人者丁卅七

人工匠丁卅八

仇讎敵丁卅八

宮室

宮殿堂館家室宅亭軒齋屋舍居房廬窩窟卅九丁

庠序學校丁卅

藏倉廩府庫丁卅

寺院觀丁卅一

園囿苑圃丁卅一

門戶丁卅二

椽桷丁卅二

楹柱丁卅三

窓牖丁卅三

藩牆籬垣屏丁卅四

闌干檻丁卅四

操觚字詠

卷之九

伊藤長胤創草

男 善韶纂著

重野安繹 閱

村山徳淳 校

實字上

此編ニハ、實字ノ大概ヲノス、同類事シゲ、レバ、一々
 ニハ及ビガタシ、凡實字ハ、字注ヲ委シク考フレハ、ソ
 ノ別自ラアキラカナリ、古文ノ作例ニヨリテ分ツヲ
 マタズ、故ニコノ部ニハ、只ソノ辨ヲアラハシテ、古語
 天文ヲ引ズ、モシ考照ヲ須ツモノハ、辨中ニコレヲ載ス、

操觚字詠卷之九

綿糸妻藏及

天文

天地乾坤

乾坤ハ、卦ノ名也、純陽純陰ノ卦ナルユヘニ、象ヲ天地ニトル、又龍或ハ馬ニモトル、後世コレニヨリテ、天地ノ別名トス、又蓋壤トモ堪輿トモ霄壤トモ云、覆載ハ用ニヨリテ云、上下位ニヨリテ云、易ニ玄黃天地之雜トアルニ曰テ、天地開闢ヲ玄萌黃芽ト云、何モ別義ナシ、皆異名ナリ

星辰宿

星ハ、ホシト訓ズル通、マガフナシ、辰ハホシノヤドリナリ、コレニヨリテ、星ノ一ヲモスグニ辰ト云ナリ、北辰ハ本天ノ

樞ニテ、動ザルトコロナリ、北極ト云モ同ジ、星ノ一ニアラズ、ソノ旁ノ一星ヲ目アテニシテ、是ヲ北辰トモ北極トモ云、朱子曰、辰ハ天壤也、地ニテイハ、總メ土地ト云ガゴトシ、ソノ外十二辰ト云モ、同コトナリ、十二月ノ日月ノヤドリナリ、星トコトナリ、宿ト云モ、ヤドリノ一也、然モ後世通用メイヘバ、星辰宿イヅレモ星ト同ジ、星辰零落ト云、星宿ト云ガゴトキ、皆ホシヲサシテイフ、二十八宿ノ片秀ノ音ニヨム説アレ、コレハ非也、ヤハリシユクノ音宜シ、
霞トイフハ朝霞暮霞トツバキ、日旁ノ彤雲、アサヤケ、ユフヤ

ケノ一也、此間ノ人、春ノ靄氣ヲカスミトイヒ、霞ノ字ヲ用ユルハ、不當、春ガスミハ、靄ノ字ヨロシ、字彙ニハ、雲集貌ト斗リ注ス、韻會ニハ、氛ナリトアリ、又翠靄トツバク、靄氣ハ此方ニイフカスミノ一ナリ

風嵐氣

風ハ、大塊ノ噫氣ナリ、嵐トイフハ、山氣ナリ、山風晴嵐ナドツバク、氛トイフハ、天氣寒氣暑氣ナド、イフ通り也、同ジヤウナル内ニテ風ハカタチハ無ク、四方ヘナビキ、ヲトヲナスモノ也、氛ハヲトモ、カタチモナシ、只身ニ覺ユル一也、嵐モ氛ノ類也、コレハ山林ノ氣也、和訓アラシトヨム、風ノ烈シクテ、ア

ラスヲイフニアラズ、

雷霆電

雷ハ通稱、霆ハ疾雷ナリ、電ハヒカリ也、如霆如雷ト采芑ニアリ、又縮ツマヲ閃トイフ、南閃北閃ト田家雜占ニアリ

時運

世代

漢世唐世ト云、又漢代唐代トイフ、又貴賤ヲ別タズ、百世之祖、十世之祖ト云、又百代之祖、十代之祖ト云、イヅレモ同ジナリ、世ハ功蓋世トイヒ、當世トイフ、世ノ字ノ義也、初メヨリ終マデ、ソノ時世ニアタル上ニ就テイフ、代ハ、前去後續、更代ス

ル上ニ就テイフ、指所ハチガヘ、用ル上ニ差別ナシ、又唐ノ世ニハ、世ノ字ヲ避ル故、五世三世モ、五代三代トカク一多シ、

年歳載祀

年ト云ハ、本ト未ニ從フ字、五穀ノミノルナリ、春秋ニ有年トアリ、トシヲ年トイフハ、禾ノ一タビ熟スルニトル、歳ハ歳星ノ一也、星行ノ一次、アマネキニトリテイフ、周禮ノ注ニ、中數曰歳、朔數曰年トアリ、節分ヨリ節分マデハ、歳也、元日ヨリ大盡日マデハ、年也、載ハ、ハジマルト云一ニテ、物終テ更ニ始ルニトル、獨断ノ説ニハ、一年之中、莫不覆載也トイヘリ、コレニヨレバ、ノスル義ナリ、祀ハ、四時ノマツリ一ヘン通リスム

ト云意ナリ、何レモ爾雅周禮ノ注及疏ニ詳ナリ、聽雨紀談ニ云、爾雅謂唐虞曰載、夏曰歳、商曰祀、周曰年、予考之、書堯典以閏月定四時成歳、舜典歳二月東巡守、則唐虞亦嘗稱歳而不專曰載、禹貢作十有三載、乃同則夏亦嘗稱載而不專曰歳、太甲三年復歸於亳、則商亦嘗稱年而不專曰祀、洪範惟十有三祀、訪於箕子、則周亦嘗稱祀而不專曰年、盖載歳祀年、古人通用之耳、ト、コノ文固ヨリ断ナリ、シカレバ、年祀載歳ノ四字、三代ノゴロ通用シテイフトミヘタリ、タゞ爾雅ノゴトク、定メテイフハ、ソノ代々ノ正稱ニテ、言語或ハ民間ニテハ混用スルトミヘタリ、又人ノトシヲイフニ、代醉ニ蔡文姬年六歳トアリ、皆コノ

例ニカク、五歳六歳トイフニハ、年ノ字ハカ、ズ左傳ニ使年トイフコトアリ、コレハ年數ヲカヅヘサスルコトナリ、人ノトシニハ、載祀ハ不用ナリ、

古昔曩往

古ハ、イニシヘ、昔ハ、ムカシトヨム、ソノ辨ハ、古人昔人ト云片ハ相通用ス、昔日トハイハレ、古日トハイハレズ、古画古器古物トイヘハ、昔画昔器昔物トハイハレズ、コレニヨリテ、ソノ辨ヲシルベシ、上古中古下古ナドイフニヨリテミレバ、古ハフルキ時代ニ就テイヒ、昔ハ禮記ニ疇昔トイフハ、前夜ノコト也コレニヨリテミレバ、年月久遠ニ就テイフ、曩ハ郷ナリ、郷

ハ往時ナリ、サキニトヨム、俗ニイフ、サツキニナリ、只今カラスギシ日時ヲイフ、年月甚久シキハ、イハズ、往ハ、往來ノ字、久近ニカ、ハラズ、ユキスギシ月日トイフコトナリ、ソノ内往日トイヘハ、近キスキシ日ナリ、既往古往往昔往古トカケバ、年代久シクナルナリ、古昔トカケバ、還歸ノ例ナリ、今テイヘバ、古代昔年ノコト也、熟用ノ上ハ、サノミ子細ナシ、古者昔者ハ、者ハ虚字也古ヘハトヨムテニハナリハト讀ス處モ、意ハ同ジコトナリ、昔在在昔ハ、在ハ虚字ニシテ、於ノ字ノ意アリニコトバナリ、コレヲ實字ニシテミテ、昔ニアリテ、昔ノコトニオイテト云意ニテ、考用スベシ、アリシ昔トイフコトハニハアラ

ズ、曩日往日ト用ユルハ、往ハユキスギシ日、曩ハサキノ日ト
 云ノ異ナリ、往昔トイヘバ、ユキシソノカミノ年月ト云意ナ
 リ、各古文ヲ下ニノス考フベシ、曰若稽古帝堯堯 堯 堯世歷三 古 文
志(古)者民有三疾、今也或是之凶、古之狂也肆、今之狂也蕩陽 必
則(古)昔禮 曲(昔)者聖人之作易也易 說 卦 〇 疏 據 今 而(昔)在武
聰明齊聖、小大之臣、咸懷忠良命書 罔自古在昔先民有作詩 商 在
昔君臣、賢自相戒、勅都俞、吁嘆於朝廷之上、而天下治者、二帝
之言語也歐 外 集 十 四 仁 宗 御 集 考(往)昔前代也、曩者嚮日也、曠昔昨日也、(一
昔一夕也、(通)昔通宵也、正 字 通史漢(往)日曰異(日)全上(日)衛不睦、故取
其地左 文 七 年 村 云 日 往 日(曩)者志入而已左 襄 廿 四曩而言戲乎、晉 語 在 今 而 道

既往、或曰曩、或曰鄉爾 雅 疏曩、自某處得觀半儀尺 牘 書 (日)者淮南衡
 山、修文學、流貨賂、兩國接壤、林於邪說漢 武 帝 紀 (日)得幸上、有子全 淮 南 屬
王 廼 者 (鄉)數上封章、懇辭樞要八內 制

今近間頃屬比

今ハ、古今ト對ス、又昨今トイフ通り也、近フチカゴロトイフ
 ニ用ユ、不遠コトバ也、間ノ字、大學章句ニ、間嘗竊取程子之意、
 以補之、點本ニコノゴロト訓ゼリ、唐本ニハ去聲ノ半圈アリ、
 病ノ間アルキノ間ノ意ニテ、近コロ少々ノ手透ニトイフ
 ナルベシ、頃ハ、俄頃一茶頃、三月頃、禮記ノ啜嚅之頃シラク爲ナドイ
 フ字ナリ、ソレホドノマ、コロ、シバラクトイフ也、屬者トカ

キテコノゴロトヨムハ、日ノ連續シテ、遠カラズト云一、比日
 トイヘバ、日ノ比並シテチカキ意、又コロホヒトモヨム字ナ
 リ、比来トカケバ、来ハ朝来向來ノ来ニテ、俗語ツケ字ナリ、
 (者)在(今)ハ、古者在昔ト同ジ訣也、(而)今ハ、今ヨリシテト云一、(即)
 (今)ハ、即時ノ即、チキニイマト云一也、俗字ナリ、(頃)者、(頃)日トカ
 ク日ト者トハ、往日古者ノ例ナリ、各文ヲ下ニ載ス、(今)之從政
 者何如、路(在)今予小子、且非克有正、書君(而)今而後、吾知免夫、
 子、伯恭(即)今西望猶堪思、訓廷璋得所、示書并古瓦硯歌一軸、近著
 詩文又三軸、歐與謝(今)者、茲人入京、作書多未、能子細、上某(此)者
 獲解郡章、許還里閑、全祭東自頃以來、叨被恩私、全跋學士(乃)者、院題名

我使諫君也、前曹參傳曰乃者猶言曩者、師古(屬)者、命考舊文稍更新制、歐外(頃)
 (日)兵宿于野、久而無功、全朕頃因考績之文、增以薦材之法、全上
 臣頃侍先帝、屢陳斯言、表奏四終朝為惡、四海傾覆、頃者、官人俱
 匱、加以水蟲為害、後朱暉傳

暑熱炎暄暖温

暑。暄。暖。ノ三字ハ、氣候ヲセンニイフ文字也。暑ハ寒ト對ス、夏
 ノ甚アツキヲイフ、暄ハ、玉編ニ春晚也ト注ス、三月比ノ日、ア
 タ、カナルヲイフ、春ニカギラズ、凡ソノ比ノ氣候ノヤウナ
 レバ、イツニテモイフ也。暖ハ、暎ト全ジ、暖風冬暖ナドツク、
 暄暖温三字トモ、アタ、カトヨミ、ミナ寒暑ノ間ノ文字ナリ、

ソノ内暄ハ陽氣ノ、ヒル意暖ハヤワラカナル意温ハ温泉
 顔色ノ温和溫柔温習等ニイフ字也、スルミノ湯ノヤウナル
 ヨリイフソレ故天氣ノヤハラカナルニハイヘテ、氣候ニ温
 氣トハイハズ、炎熱温ノ三字、本氣候ノ文字ニアラズ、炎ト熱
 トハ、火ノアツキヲイフ、ソノ内炎ハモヘアガルヲイフ字故、
 勢ツヨクバツトアツキナリ、熱ハ、ネイリテ手厚クアツキ也、
 氣候ニイフテ、熱ハ、苦熱ナドイヒテ、暑ノシツコキトニナル、
 炎ハ一字ニテハ、暑ノアツサニハイワレズ、

寒、冷、涼、凄、互

寒ハ、冬ノキツウサムキ也、暑ト對ス、冷ハ、寒ノ輕キ也、深秋冬、

初ノ比ノ氣候ヒヤ、カトヨム、コノ字ハ、冷物冷水ナドニ用
 ヲ、涼ハ、夏ノタグレナド、ス、シキ也、冷ヨリハ、又寒ノ薄キナ
 リ、冷ノ字又ウスキトニ用ユ、凄ハイツニヨラズ、氣ノヒイヤ
 リトスルトナリ、心ニ感スルトアリ、又夕方ニサミシキ所ハ
 行キ、何トナク、物サミシク、風ナド立ツ所ノトヲ凄然ト云ナ
 リ、互ハ、寒ノ凝リイテルト也、互寒トツヅク

夜、宵、夕、暮、昏

夜ハ、晝ト對ス、日ノ入ヨリ、日ノ出マデハ、夜ナリ、宵ハ、陽氣消
 スルト云フ、オ、ヒクヲキ義ナリ、書經ニ、宵中星虛ト云、詩經
 ニ、肅々宵征ト云、左宣十二ニ、晉之餘師不能軍宵濟亦終夜有

聲トアリ宵ハヒガクレテ、クラガリニワタルト云、終夜ト
 ハ、ヒルニ對メ、前後ノ切アツテイフ、又夜アルク、ト宵行ト
 モ夜行トモカク、コレラノ片ハ通ジ用ユトミヘタリ、夕ハ朝
 夕晨夕ト對ス、夕ダレノ、也詩語ニハ、夜ノ、トモ、カルキ詞
 ニ用ユ、暮ハ、説文ノ注ニ、平野中望日將落、如在草莽中也、ト、日
 ノ入りノ、也、昏ハ、日入りテ後、二三刻ノアヒダヲイフ、黄昏
 定昏ノ別アリ、夕ツガレ時也、謝惠連ガ雪賦ニ、歲將暮時既昏
 トアリ、暮ハ歲暮暮年等ニ用ユ、昏又クラキ、トニ轉用ス、孟子
 ニ昏暮ト連用スルハ、日クレト云、トナリ、暮ハマヘ、昏ハソノ
 次ツレカラ夜ナリ、

地理

邦國郡縣州閭鄰里鄉黨都邑村落

周禮ニ云、大宰掌邦之六典、以佐王治邦國、注、大曰邦、小曰國、ト
 ス、曰、量人掌建國之法、以分國為九州、ト、コレニテ邦國ノ辨、明
 ナリ、邦之六典トイフハ、中國ゲウノ、也、故ニ大ヲ邦ト云ト
 注ス、治邦國、建國、分國ノ國ハ、土地ヲ分テ、一國ヅ、トスルク
 ニヲイフ、故ニ小曰國ト注ス、貴邦貴國ナド、全地ヲアゲテイ
 フ片ハ、國モ邦ト同ジク用ラル、邦ハ、大ナルヲイフ方多ク、小
 キナルヲイフ方少シ、故ニ用セマシ、國ハ、大國中國小國又ハ
 西國東國ナド、イヅレエモイハル、故、用ヒ方ヒロシ、又品字

國字ノ下ニ云、小曰邦、大曰國、邦封國域也、以邦國皆有封域、為之界限也、又儀禮、同姓大國、異姓小邦、則邦與國之為大為小、殊未可以偏定也、ト、コレ亦ミルベシ、州ハ九州トイベハ、天下ヲ九ツニワリテイフ、九ツノクニ也、漢ノ州ハ郡國ヲ統テ、縣ハソノ下ニ屬ス、唐ノ州ハ道ニ屬シテ、州郡互ニ稱ス、郷ハ縣ニ屬シ、縣ハ州郡ニ屬ス、唐ノ州ハ本邦ノ國ニ當ル、山城國ヲ城州トイフハ、唐ノ制ニ配メイフ也、論語ノ、雖州里行乎哉、トイフハ、五黨為州、トイヒ、二千五百家ナリ、周禮ニ云、五家為比、五比為閭、四閭為族、五族為黨、ト、閭ハ廿五家也、又云、五家為鄰、五鄰為里、ト、里モ廿五家也、比鄰ノニツハワガ家ト前後左右

トナリ、漢食貨志ニ、四里為族、五族為黨、五百家為州、五州為郷、ト、コレ一萬二千五百戸ナリ、通メコレヲミレバ、古王制ノ盛ナル時ハ、一戸ヨリ五戸、段々ニクミ上ゲ、州閭郷黨ノ名アリ、定タル數ニヨリテイフ也、ソノ後制度變シ、稱呼カハル上ハ、拘テイフキハ、上ノ通ナリ、比鄰里閭郷黨ナド、ヒロクイフキハ、タマソノ大小廣狹ニ就テイフナリ、都ハ天子ノミヤコナリ、又左傳莊ノ廿八年ニ、凡邑有宗廟先君之主、曰都、無曰邑、ト、コレハ封邑ヲ都トイフ也、此方ノ城下トイフガゴトシ、邑ハ、邑人聚會之稱ナリ、史記ニ、舜一年而所居成聚、二年為邑、三年為都、ト、上ノ注ニヨリテミレバ、此方ノ大津ヤ堰ナ

ドノ如キ、都會ノ地ヲイフ、村ハ、聚落ナリ、人ノアツマリ居ル
 ザイゴムラナリ、ムラト訓ズルハ、ムラカリ屯スル義ナリ、淵
 明ノ詩ニ、遠人村トアリ、又桃源紀ニ村中ト云テアリ、コレラ
 ハタゞ人ノアツマリ居ル處ヲノフ、中國後世ハ一村ト名ヅ
 クルトアリ、落モ、人ノ聚リ居ル處ヲイフ村落屯落聚落トツ
 ヅク、コレハ村ノゴトク、名ニツクルトキカズ、部落トイフ
 ニ用ルナリ、鄙ハ都ニ對ス、モトハ都鄙郷遂ノ字ナリ、右ノ類
 ハ數ニカ、ハラズ、大小都鄙ノ辨ナリ、

倭 和 日本

我國ヲヤマト、稱シ、又アキツスト稱ス、文字ハ萬葉ノ例ニ

テ、大和山迹蜻蜒洲秋津洲トカク、倭ト稱スルモ古シ、コレハ
 コノ方ノ稱呼ノ音訓ヲ、中國ニテ文字ヲ填タルトミヘタリ、
 前漢地理志ニ、倭人分爲百餘國ト云文アリ、中國ヨリハソノ
 後相傳テ、倭人倭國ト稱ス、品字、倭又音窩、東海日本倭國云、日
 本トイフハ、中國ノ書ニ、唐以上ニハミヘズ、此方ノ書ニモ改
 稱ノ始メミヘズ、
 天智天皇ノ比ヨリ、用ラレタルトミヘタリ、委シクハ、秉燭譚
 ニノセオケリ、日本トカクハ、送日東鑿禪師ナド、コレハ定リ
 タル名ニハアラス、日本トイフヨリノコナリ、和漢和歌和學
 トイフ類ハ、ヤマト、稱スル古号ニ、大和ノ字ヲ用ユル故ナ

リ、和ト倭トハ、本ヨリ別字ナリ、

中國 中夏 中華 漢 唐 唐山

王制ニ云、中國戎夷五方之民皆有性也ト、五方トハ、四方トハ、四方ト中トナリ、然レバ中國トイフハ、四方ノエビスノ中ノ國トイフ義ナリ、中夏中華ノ中モ全シ、論語諸夏ノ小注ニ、馮厚文而云、諸侯之稱、夏大也、中國曰夏大之也ト、書經ニ、區夏トアリ、詩經ニ時夏トアリ、華夏トモ連稱ス、愚按ズルニ、夏殷周ノ國號ニヨリテ、後世通稱スル、猶漢唐ノ例ノ如キニヤ、シカレト、時代久シキ、故一義トナルトミヘタリ、華ハ夷ト對ス、夷狄ハ固陋、中國ハ文華盛ナル義ナリ、又カラト云、漢トモ、唐ト

モ稱ス、漢製唐音ナドイフ、コレハ漢ノ時、初テ中國ニ通ジ、唐ノ時我國通信甚數ナリ、又漢唐ノ二世時代久シク、文物盛ナル故、後世マデモ、ソレヲ用ヒツケテイフ也、中國ニテモ、ケヤウノ稱アリトミヘタリ、コノ說何レノ書ニテカ見當リ、偶失記ス、近來俗語ニカラト云、唐山トイフ、長崎へ來ル、唐人ノイフコトバトミヘタリ、又天朝中朝トイフハ、封冊領曆ヲウクル國ヨリ、中國ヲイフコトバナリ、正用ハタゞソノ時代ノ號ヲ用ヒ、明清ト稱スルガ當リナリ、臨文ノ間、混用スル、ナカレ

京師 洛陽 京兆 平安 都

京師ノ字、詩ニアラハル、曰惠此京師ト、京ハ大也、師ハ衆ナリ、天子ノ所居ナリ、周ヨリコノカタ、イツノ代ニモ、都ヲ京師トイフ、土地ノ名ニハアラス、洛陽ハ、本洛邑也、洛水ノ陽故ニ洛陽ト云、周家以鄴鎬都トシ、洛陽ヲ營シテ、諸侯ヲ朝セシム、西都東都ノ稱アリ、平王東遷シテ、洛陽ヲ都トス、京兆トイフモ、兆ハ衆數、大衆ノアル所ヲイフ、唐ノ玄宗ノ時ニ、雍州ヲ京兆府ト改ム、長安トイフハ地名ナリ、漢唐ノ代、長安ニ都ス、平安城トイフハ、本朝ノ都號也、桓武帝延曆年中、山城國葛野郡ニ定鼎シ玉フテ、命セラル、號ナリ、都トバカリイヘバ、總メ天子ノミヤコスル所ヲイフ、ソレ故都ス、遷都古都南都ノ類ニ

用ラル、又野客叢書ニ云、晉景帝諱師、以京師為京都ト、京都トイフハ、コレニ始ル、唐ノ書ニモ、因仍シテ京都ト云、

本朝 我朝

國朝本朝トイヘバ、朝廷ノ稱也、本國本邦トイヘバ、通國ノ稱ナリ、皆手前バカリニテイフコトバナリ、我國我朝トイヘバ、異國ヘ對シテイフコトバ也、彼ニテハカフ、我國ニテハカフトイフキニ用ルコトナリ

山嶽峯嶺岑岡陵阜

山ハ、高大有石ヲイフ、大小卑高ニ通シテイフ、惣稱ナリ、嶽ハミタケト訓ス、山嶽トイフヨリサカシキ也、五嶽四嶽山嶽ナ

ド云ヒキ、ヲイハズ、スグレテ高キ山ヲイフナリ、五嶽ハ華
 山恒山等ナリ、シカレバ、高山ハ山嶽通稱スルノシルベシ、嶽
 トイフキハ、尊宗ノ意アリ、又岳ハ嶽ノ古字ナリ、別義ナシ、タ
 、姓ノキ、岳飛ヲ嶽ニハ不作、字彙古文ヲ引、岳嶽別字トス、正
 字通ニヨレハ、姓ノ外ハ通用シテ不苦也、峯ハ、山端ナリ、山ノ
 イタバキノ高キ處ヲイフ、カタサキヲ肩峰ト云ニテミルベ
 シ、嶺ハ、山坡也、山ノヲ通リヲイフ、峯嶺ハ、ミネトヨメ、峯
 ハタツ也、嶺ハヨコ也、岑ハ、山小而高也、ホソクスルドニ、トガ
 ルミネ也、シントシタルヲ、岑寂ト云ニテ、ソノ意ミルベシ、
 岡ハ、山脊ナリ、嶺ハ一スデ、岡ハ、ヒラ也、又小山ヲ岡ト云、阜ハ

説文、大陸山無石也ト注ス、オカ也、アツシトヨムニテ、オスベ
 シ、大阜曰陵丘後高ナリ、禮記ノ注ニ、高而有向背者為丘、平而
 人可陵者為陵ト、又山陵トハ、ミサ、ギノ一也、スベテ岡阜丘
 陵、ミナ山ノ卑小ナルモノナリ、ソノナリカツコウニテ、ソレ
 くノ名ワカル、ナリ、

川河水泉

川ト云ハナガレ川ノ一、泉ト云モ、又全ジ一也、ワキ出ルニ就
 テ、泉ト云、流ル、ニツイテ、川ト云、ソレ故川ノ名ト云、片ハ、イ
 ヅレモ、水ノ名ト注ス、淮水泗水ナドイフ通リナリ、河ト云字
 ヲ川ノカハリト覺ユルハ誤ナリ、河ハ黄河ニカギル、故ニ黄

河へ流入ル川ハ、何レモ河ト云、河北方流水之通名ト云是ナリ、恒河拔提河ハ、西域ノ川ナレモ、コレヲ河ト云ハ、翻譯ノ時カリ用ユル也、又俗語ニハ、城ノ濠ヲ城河ト云、又堀川ト云、コレハ、各別ノ一ナリ、

波濤瀾浪

波ハ、説文ニ、水涌流也、ト注ス、品字云、水遇風而不至浪曰波ト、大小ニ通ジ、ナミノ總稱ナリ、濤ハ、海中ノ大波ナリ、タツナミナリ、ドウクト、聲高キ故、松風ヲ松濤トイフ、瀾ハ、爾雅ニ、大波ト注ス、濤ハ、ユルク大キニ、ウネルナミナリ、瀾ハ、大波ニテモセハシクウネル意ナシ、浪ハ、水激石遇風則浪ナリ、サツナミ

ナミダツト云字也、シカレモ波浪波濤ナドイハ、大小ニ通用セラル、波濤トイハ、小キニハ用ラレズ、

江湖池澤

湖。池。澤。沼。止。等、何レモタマリ水ナリ、大小ニ回テ、名ヲ異ニス、又後世ニハ、泊ト云、灤ト云、蕩ト云アリ、湖泊湖蕩トツク、梁山泊ト云是ナリ、又雁山ノ上ニ、湖水アルニヨリテ、雁蕩山ト云、何モ全キヲナリ、江ト云ハ、各別ノ一也、江淮河漢ト、中國天下ノ四大河ニテ、是ヲ四瀆トイフ、南ニハ江ト云、北ニハ河ト云、流ノ名ナリ、女直ノ黒龍江、松花江、朝鮮ノ鴨綠江ハ、北方ニアリテ、紅淮ノ江ニハアラサレモ、假用時ヤレテ云、猶西域ニ

珥河ト云ガゴトシ、日本ニテエト訓ジ、湖水タマリ水ヲ江ト
 稱スルハ、アヤマリナリ、停水曰池、禮記ノ注ニ、畜水曰陂、穿地
 通水曰池、ト、大小ニ通メ、水ノ落コミ、又流レ出ルイケナリ、昆
 明池、太液池、又蓮池、小池、ナド、フカミノアルモノヲ、ヒロクイ
 フ、通りナリ、沼ハ、説文ニ池ナリトアリ、一説ニハ、圓曰池、曲曰
 沼、トイヘリ、畢竟セン水ノタグヒハ、廣狹ニカ、ハラズ、沼ノ
 類ナリ、ヌマト訓ズルハ、當ラズ、靈沼、ナド云キ池ノ字ト全ジ
 一ナレモ、フノ用狹シ、澤ハ、水之鍾也、水草交厝、名之為澤、トイ
 ノ、ヒクミノ地水ノ溼リ流レヨル處ナリ、深キヲイハズ、沚ハ、
 ミヅギハ也、小渚曰沚、トアリ、汀モ、キシナシノ水キワノスナ

地ヲイフ、渚ハ、小洲ナリ、水岐ヲ渚トイフ、又臯モサハナリ、詩
 ニ九臯ト云アリ、林臯トイヘバ、サワギシノ林木ノアル水游
 ノ地ヲイフナリ

沖洋

沖ハ、冲モ全ジ冲虚冲和トツバキテ、ムナシキ意ナリ、オキト
 訓ズル義ナシ、水傍ノ中ニ從フニヨリ、オキトヨムナルベシ、
 オキハ洋ナリ、大洋外洋西洋ミナオキノ一也、ナダト云モ、洋
 ノ字ヨロシカルベシ

湊

湊ハ、輻湊アツマル意ニテ、實字ニアラズ、ミナトノ義ナシ、ミ

ナトハ隄也、安隄ト云、近代ノ書ニ多ク見ル、

溝渠

溝渠_凡ニ水道ミヅノ_一ナリ、溝ハ本井田十夫間ノミヅ筋ナリ、廣四尺深サモ全ジ、廣ク御溝ナドイフ所ハ、大概二三尺バカリノミヅ也、渠ハ河渠トツヅク溝ヨリハ、餘程廣キミヅナリ、高瀬川ノゴトキヲ艘渠トイフベシ、荀子ニ、愚陋溝沓トイフ_一アリ、無知ノ_一ナリ、淺キ義ニトル、又渠帥ハ、大ナリ、夏屋渠ハ、深廣貌ナリ、コレラニヨリテモ、大小ノ辨ヲミルベシ、川水ノ字ハ、皆大小ニヨラズ、自然ノ流水ヲイフ、溝渠ハ兩旁ヲキシニシテ、人ノ作りタル水道ナリ、

谷

谷ハ、字彙ニ、兩山中流水也、爾雅水注谿曰谷ト、シカレ_凡、水ノ有無ニカキラス、兩山ノ間ハ、ミナ谷トイフ、ソノ詞ヒロシ、壑ハ、坑也、一丘一壑、又海ヲ大壑トイフ、欲ノ_一カキヲ谿壑ト云、左傳ニ、壑谷ト云_一アリ、ミナヲチコミノ_一アリ、大小ニ通ズ、谿俗ニ溪ニ作ル、水注川曰谿、杜曰、澗ナリ、宋均曰、無水曰谷、有水曰谿ト、コレニテアキラカ也、タニ川ナリ、澗ハ、山夾水也、コレモ谷川ナリ、澗谿ノ別ハ、大小ト、ソノカツコウトニヨルトミハタリ、

隄堤防塙墳陂塘

隄ハ池澤ナド、淺水ノヒロキ中ニ、ツ、ミヲツキ、橋ヲワタシ
 テ、人馬ノ往来ヲナスモノ也、西湖番ナドニアリ、堤ハ、隄ト全
 ジト也、長堤蘇公堤ナドイフ、防ハ、川ノ兩崖、水ノフセキニシ
 タルヲイフ、ツノ上ハ、往還也、隄防凡ニフセグト云義ニナル
 也、墳ハ、防ノヒロク大ナルモノナリ、隄ハセマク、兩方ニ水ア
 リ、防ハヒロク、一方ニ水アリ、墳ハ防ノ又大ナルモノ也、隄塘
 ノニツハ、用水池ノツ、ミナリ、陂ハ、野池也、ソノタメ水ノグ
 ルリニ、土ヲ築タルヲ、スグニ陂ト云、塘モ瀕也、堰ノ類ナリ、グ
 ルリニ土ヲ築タルヲ又塘ト云、陂塘同ジヤウナル内、陂ハ水
 ノ下リアツマル所へ、タメテツ、ミシタルナリ、塘ハ、平地ニ

グルリニ、土ヲツイテ、池トシタルナリ、錢塘瞿塘ノ類也、又考
 フベシ、又三才圖會ニ、陂塘水塘ノ圖アリ、上ノ分ハミナ水邊
 ニカ、ル、塢ハ、水邊ノツ、ミニアラズ、土手ノ一也、甚大ナル
 モノニハアラズ、ソノ上ニ花樹ヲウユルユエ、桃花塢、辛夷塢
 ナド、イフ、ソノ上ヲ人ノ往来スルモアリ、往来セザルモア
 ルベシ、

崖岸濱汀干

崖岸ハ、キシトヨム、水邊ノ石カキナドツミ、又自然ニテモ、
 塚ノ付キタル所也、コダカキ、シヲ崖ト云、又涯ノ字モ、崖ト
 全ジ、津涯トツ、キ、水ギワノ一也、カキリトモ訓メ、天涯生涯

トイフ、岬ハ、水涯ノ高クスルドナル所ヲイフ、爾雅ノ注ニ、厓峻而水深曰岸トアリ、コレニテ崖岬ノ別シルベシ、品字云、岬之高者曰岸ト、濱ハハマトヨム、水濱海濱ナドイフ、水際ノ平地ヲ、バツトヒロクキリナシニイフ也、汀ハ、ミギハトヨム、ミヅキハト云、ナリ、汀ハ平地也ト注ス、水際ノ平地也、高キナリ、アルハ岬ト云、ソノシキリナシニ、平ナルミヅキワヲ汀ト云、干ハ、ミギハト、ホトリトモヨム、澗也、水涯也ト、字書ニ注アリ、斯干鴻漸干干河之干等ニテミルベシ、ドコヲサシテイフニアラズ、タゞ水ト地トノサカイヲ干ト云也、右イヅレモ、洲渚川澤海池處ノカツコウニテイフナリ、ソノ内濱ハヒロク、汀

干ハセマシ、ミナ平地ナリ、崖岬ハ高フシテ長シ、水ナキ處ニイフ、イモアリ、
 道路途徑行方術
 ミチハ、人ノ往来スル處ノ總名也、ソノ内、大小ノ差別アリ、道ト云ハ、唐ノ十道、本朝ノ七道、天下ノ大ミチスヅヲ云、又左宣十四ニ、無假道于宋トアリ、往クワンノ、也、大小ニ通ジ、ソノ用ヒロシ、路ト云モ、大小ニ通ズ、宋ノ二十三路、公孫丑ニ、反齊滕之路、未嘗與之言行事也、ナド、イフキ、大ミチナリ、小路山路ナド、イフハホソキミチナリ、和訓ヲトヨム、途ハ、小道ナリ、塗ト途トハ全コトナリ、又塗ニモ作ル、陽貨ニ、道聽塗説トア

リ、史紀ニ、晏子出遭之塗トアリ、今イフトチウトイフ通也。徑ハ、ホソミチナリ、山ミチ、或ハ庭中ノミチナドヲイフ、三徑山徑花徑ナドニテシルベシ、コミチト訓ズ、チカミチヲ捷徑ト云、コレヲカリテ、利便ナルヲ捷徑ト云、行ハ、詩經ニ、行露トカキテ、ミチノツユトヨム、行ヲミチトヨムハ、アルクスゲト云フ也。術ハ、字書ニ、邑中道也ト注ス、途ト路トハ、行ヒノ道ニ、假用スルヲナシ、道ヲ行ヒノミチニイフ片^{シカ}方法ヲ以テイフアリ、大學之道コレナリ、堯舜之道吾道夫子之道ト云ハ、家談トイフガゴトシ、又天下之達道忠怒違道不遠夫道若大路然ノ類ハ、一人ノ私スルトコロニアラズ、ソノ意甚重シ、又善惡

大小異端技術、ミチ道ト云ハ、カリテソノスジニ就テイフ也、大方術^ニ、ミチトヨム分ハ、ソノ嚮方スル處ノミチスゲ也、術ハ、ソノシカタ道スゲ也、イツレモ條理アルニ就テイフナリ、

境界域疆

境ハ、字彙ニ思也ト斗リ注ス、別義ナシ、界ハ、字彙ニ境也、服也、雜間也トアリ、境界ノ二字、別義ナケレドモ、熟用スル上ハ、差別アリ、境ハ、境内ノ意ニテ、ソノサカヒノ中ヲ云、孟子ノ臣始至於境、問國之大禁、然後敢入ニ、境ノ字ヲ用ユ、齊ノ領内ヘイルト云意也、又檀弓ニ、古之大夫束脩之間、不出竟トアリ、上ノ

意ヲ以テミルベシ。界ハ、兩方ノサカヒノヲ云孟子ニ正經界。又仁政必自經界始トアル、人ノ田ト吾田トノ、サカイノヲ云佛家ニ、結界十畧界内畧外ナド云モ、コノ意ナルベシ。畢竟界ハ物ノシキリノ一、境ハシキリノ内ノ一也。域ハ字彙ニ區域也。畧局也トアリ、論語ニ且在邦域之中トアリ、北州ヲ九域ト云、老子ニ、宇内ヲ域中ト云、境字トソノ意相通ズ。疆ハ、封疆トツバキ、土手ノ一也、古ハ國畧ニ土手ヲツキテ、彼此ヲワカツニヨリ、サカヒノ訓アリ孟子ニ出疆必載質、又有故而去、則君使人尊之出疆ノ類ミルベシ、イヅレモ、古来ノ作例ヲ考ベシ、又孟子ニ域民不以封疆之畧、固國不以山谿之險トアリ、コノ

文ニテ、域疆畧ノ辨明也、上ノ訣ヲ以テミルベシ、

石岩

石ハ、山骨也、大小美惡ノ品多ケレテ、マギラハシキ一ナシ。岩ノ字ハ、巖ニ全ジ、コノ方ニテ、イワトヨミ、清閑寺石ノゴトキ、物ヲイワトイフ、ソレハ假山トイフモノ也。巖ハ千石巖ナド、イフ通り、大石ノ山ノゴトクナルヲイフ、雁蕩ノ老僧巖侍童巖、ナドノ如シ、又維石巖々ハ、石ノ角立テ、險ナルカタチ、カシトイフ通りナリ、又石窟曰巖深通曰洞ト注メ、イワアナノ一ナリ

墓塚墳墳



墓ト云ハ、ハカ地也、周禮ノ注ニ、庶人不封不樹、故不言冢、而云墓、又方言ニ、九葬無墳、謂之墓、有墳謂之塋、故檀弓云、墓而不墳、又平曰、墓封曰冢、高曰墳、トアリ、コレニテ明ナリ、冢ハ、ハカニカギラズ、一里ヅカノ如キ、土ヲ高クモリアゲタルヲイフ、ハカヲ冢トイフ、ハ、上文ニヨリテミレバ、墳ト云ヨリハ、小トミヘタリ、字又塚ニ作ル、墳ハ、冢ノ大ナル也、塋ハ、ツカアナ也、墳志ノ文ハ、ツカアナヘ、收ル文ナリ、コノ外馬鬣封ト云、封ハ、冢墳ノ長ク、土手ノゴトクシタルナリ、塋域先塋ナド云、塋ハ、ハカ地ノ領分サイノ内ナリ、

又人品附親屬ノ類、如ト云、上ハ、始メテ、如ト云、

帝王皇帝天子稱陛下對至尊、上ハ、初天王ト云、帝トイフハ、詩經ニ、順帝之則トイハバ、モト天帝主宰ノト也、殷ノ世ニ、天子ヲ帝トイフ、周ニハ、王ト稱ス、秦始皇帝ト稱ス、皇ハ大ナリ、天ナリ、皇帝トイハバ、始皇帝孝武皇帝ノ如キ、正稱也、又先帝列帝等ニイフ也、王霸ノ辨、モトハ、王ハ天下ノ主、霸ハ伯ト全ジ、西伯ナドイフ如ク、諸侯ノ頭ナリ、王道覇術トイハバ、徳ヲ以テ服スルト、カヲ以テ制スルトノ別也、猶君子小人ノ位ト徳トノ別アルガゴトシ、天子トイハバ、廣ク通稱スル正用ナリ、明天子聖天子ナド、イフハ、用ヒ、謚號ニ配スルナドニハ、用ヒズ、陛下トイフハ、羣臣ノ至尊トモノイ

フニ、敢テ斥イハズ、陛下ニアル者ヲ呼テ告ル義ナリ、殿下閣下執事足下ノ例ト全シ、此方ニ御前トイフ意ナリ、至尊トイフハ、臣下内外兼テ稱スルコトバ也、此方ノウヘ様トイフ意也、上トイフハ、獨断ニ、上者尊位所在也、太史令司馬遷、記事當言帝則依違但言上、不敢謀瀆言尊号、尊王之義也ト、此方ノ主上トイフ意ナリ、下々マデハイハレズ、諸文ヲ下ニ載ス、曲禮云、君天下曰天子、鄭玄云、今漢於蠻夷稱天子、於王侯曰皇帝、獨断云、漢天子正号曰皇帝、自稱曰朕、臣民稱之曰陛下、六典云、凡夷夏之通稱、天子曰皇帝、許慎曰、春秋左氏云、施於夷狄稱天子、施於諸夏稱天王、施於京師稱王、又按ズルニ、周ノ時天王トイ

フハ、天子ノ正稱也、故ニ春秋コレニ從フ、王ヲ尊テ天トスルナリ、獨断ノ説ニハ、天下帰王ノ義トス、コレハ非ナリ、

君后主公

君ト云ハ、貴賤ニ通メツカフルモノハ、君ナリ、君臣有義ト是ナリ、主ト云モ、其ノ通りナリ、后、イニシヘハ、天子諸侯ニ通メ后ト云、元后ト云、群后ト云、タダヒ、書經ニ多アラハル、後世專后妃キサキノリニナル、周ノ時ヨリシカリトミヘタリ、公ハ三公、官爵ニカ、ル、公上ト云ハ、天子ニカ、ル、ヒロクイヘバ、尊フ言バニナルナリ

聖賢君子善人

聖トハ、行ツノ至極ニ至ルノ名也、伯夷伊尹ノ如キ、清ト任ト
ノ偏ハアレ、臣、人ノエセスホトノ清任ノ、チヤウぐノ處マデ
イタル故、聖トイフナリ、又徳ニ就テイフナリ、賢ハ不肖ト
反對ス、人ニマサリ、スグレルト云フ也、愚按ズルニ、賢ハ堅ニ
從、貝ニ從フ、貝ハ寶也、人中ノ堅キ行アリテ、人ノ寶トスル意
ニヤ、賢ニハ賢行賢婦賢臣ナド、通用ス、又人ヲ稱スルニ、賢
室賢兄ノコトバアリ、カヤウノ處、聖ノ字ト違コトミルベシ、
聖ノ字ヲ稱美ニ用ルハ、天子斗リナリ、文字ノ義、上ノゴトシ、
聖賢階級アルニアラザル、字義ニ詳ナリ、君子トイフハ、本
在位歴々ノ人ノ一也、カロキ者ニテモ、ソノ徳アリテ、大勢ノ

上ニ立テモ、下ヲ治ル程ノ徳アレバ、亦君子トイフ、コレニヨ
リテ、在位有徳ノ辨アリ、君子ハ小人ト反對ス、聖トノチガヒ
ハ、人ノ行ノ中庸ニテ、何トナクヲトナシキ人ハ君子トイフ
ベシ、ノノ内ニ、大小ノチガヒハアレ、臣、通メイワル、コトハ
也、コノ所聖ノ字トカワル也、孟子ノ伯夷隘柳下惠不恭隘
與不恭、君子不由也、ニテ、ソノ辨ミルベシ、善人トイフハ、學問
ナクテモ、生質ノスナホナル、ヨキ人ガラヲイフ、惡人ノ反對
也、惡人モ稽古シテアシクナルニアラズ、陷溺ヨリノ也、子
張問善人之道、子曰不踐迹亦不入於室、又曰得見善人可矣、集
注ニ、善人質美而未學志也トアリ、コノ外、大人ト云モ、在位有

徳ノワケ、君子ト全ジ、ナリタ。學者ノ君子タラシテ願
 ヒツトメテ、小人ノ趣ヲ去ルハ、聖經縷舉スベカラズ、大人ト
 云ハ、君子ト全ジヤウニテ、少シ別アリ、易大象ノ中、君子ト云
 處多シ、間ニ大人ト云處アリ、始ノ程傳ニ云、(君子)則上下之通
 稱、(大人)者王公之通稱トシカレバ、徳ニ就テイフモ、君子ト云
 ヨリ重クセマシ、聖賢ノ辨ハ語孟字義、訓幼字義ニ詳ナリ故
 ニ瑣義末説ノミヲアグ、

父母、爺、孃、親

父。母ハ、正名ナリ、考妣ハ、死後ノ稱呼ナリ、爺孃ト云ハ、俗語ナ
 リ、又椿萱ト云ハ、別名ナリ、怙恃モ同ジ、コレハ詩經ノ蓼莪ニ

イザ、又親トバカリイヘバ、父母ヲ一ツニシテオヤトイフコ
 トバ也、又二親トイヘバ、父母ノ一、親屬トイヘバ、親類中ナリ、
 六親トイヘバ、父母兄弟妻子ノ一也、親父トイヘバ、本生父ノ
 一也、居家必用ニ注アリ

先人、先君、先子、考

シセル父ヲ考ト云、禮記ニアラハル、又先人先君先子トモイ
 フ、シカレバ、コノ三ツハ亡父バカリニ、カギルニアラズ、都穆
 カ聴雨紀談ニ云、今人稱先子先君先人為父、然不獨父也、如曾
 如稱曾子曰吾先子之所畏也、則稱祖為先子、子頌曰吾先君之
 相魯則稱六世祖為先君、孔安國曰先君孔子又曰我先人用藏

其家書于屋壁則稱十一世祖為先(君)五世祖子襄為先(人)也ト
コレニヨレバ、ヒロクワガ先祖ヲサシテイフ、近来ノ文ニハ、
多クハ父ノトス人トイヘバ、泛クイフ、君トイヒ、子トイ
フハ、尊ブコトバナリ、又左莊十四年ニ云、先(君)桓公、林注云桓公鄭始封
之命我(先)人命我原繁之典司宗祏ト、コノ先君ハ、主人ノ先祖
ナリ、先人ハワガ先祖ナリ

伯叔舅姑

伯父叔父ハ、父方オゲナリ父ノ兄ヲ伯父ト云、弟ヲ叔父ト云、
ソノ妻ヲ伯母叔母ト云、母方ノオゲヲ舅ト云、周ノトキ異姓
ノ諸侯ヲ伯舅叔舅ト云、外戚ニ準メ、親ミ尊ブコトバ也、姑ト

云ハ、父方ノオバナリ、伯姑叔姑ト云、母方ノオバハ、嬖又從母
ト云ナリ、又ヨメヨリ、シウトヲ舅トイヒ、シウトメヲ姑トイ
フ、委シキコトハ、釋親考ヲ考フベシ、

妻室

后トイフハ、天子ノキサキ也、妃ハ、ソノ次也、又太子ノ嫡室ヲ
妃ト云、夫人ト云ハ、天子ニ三夫アリ、又諸侯ノオクガタヲ、夫
人ト云、妻ハ、メトヨミ、父母妻子トイフ通り、夫トヨリ正クイ
フ言ハ也、婦ハ、本婦人ノヲ、又ワガヨメラ婦トイフ、夫婦有別
ト云通りナリ、又孟子ニ、夫妻トモイヘリ、夫ハモト丈夫ノ夫
シカレバ、夫婦ト云ハ、男女ト云コトバ、判合定リタル名也、室

トハ、禮記ニ、三十曰壯有室トアリ、婦人室家ニ居テ、夫婦タル
 故ニイフ、コノ方ノ俗ニ、オクトイフガ如シ、オクノ間ニ居ル
 故ニイフ、也、室人室家ナドイハバ、妻トイフヨリハ、ヤハラ
 カニナリ、丁寧ノ言バ也、配ハ、マクバヘトヨム、夫婦ヲ配偶ト
 イフ、ワガミニ配匹スルト云フ也、碑文ナドニ配某氏ナドカ
 ク、嬪ハヨメツカヘトヨム、嬪于虞、嬪于京ナドハ、婦人ノ夫ニ
 服事スル也、禮ニ生曰妻、死曰嬪トイフキハ、考妣ト同例ノ
 稱ナリ、ホメテイフ言バ也、古今コトバノカワリナリト、釋親
 考ニアラハシオケリ、

子息男

子ノ字ハ、父子ト云通り、正用ノ文字ナリ、古今貴賤雅俗ノ別
 ナシ、男女ニカキラズ、オヤノ方ヨリモ、子ノ方ヨリモイフ、息
 トイフハ、生息ノフエル義ヨリイフ也、字典東觀漢記ヲ引
 テ云、此盖我子息也、又戰國策老臣賤息云々トアリ、コレヲ
 ミレバ、ヲヤノコトバニ、我子ノヲイフ、謙ノ意アリ、他人ヨ
 リイヒ、子ヨリ親ヘ對メ、イフコトバトハミヘズ、家禮納幣ニ
 ムスノノヲヲ、弱息トアリ、男ハ嫡男次男ナドイフ、ヲトコノ
 コトイフテ、ヤクニタツ意トミヘタリ、親ヨリイヒ、又子ヨリ
 モ、父ノ用事ニカクニ男某トカク、他人ヨリモ、イハルレ氏、甘
 シアテ、イフコトバニアラス、

朋友 執 執友 僚友

トモダチヲ通ソ朋友ト云、朋友有信ト是ナリ、白虎通ニ曰同門曰(爾)同志曰友ト、又執ヲ父ノ友トヨム、オヤノ同志ノ友ナリ、僚友ハ、同ジ主人ニ奉公シテ、官ヲ同ウスル友也、執友ハ、師匠ヲ同ジウスル、デシホウバイノト也、何レモ曲禮ニ詳ナリ

賓客

賓ト云ハ、モテナスキヤクノト也、ソレヨリメ、上ニテモノ下ニテモ、ウヤマイテアシロフ片ハ、賓トイフベシ、客ハ、寄客客土客氣ナドノ義ニヨリテミレバ、本他所ヨリ入り来リテ、カリニヤドル意ナリ、過客旅客ナドイフ、易ノ不速之客トイフ

不令イフキヤクノト也、賓ハウヤマフ意、客ハカリニヤトス意ヲ以テミルベシ、賓客ト連用スルキハ、一字ヅ、意ヲ分ツトモミヘズ、

太子 世子 嫡子 長子 元子

春秋ノ時、天子諸侯ノ嗣子、通メ世子ト稱シ、太子ト稱ス、漢ノ時ニ及テ、侯國亦太子ト稱ス、天子ノ元子ハ皇太子ト稱ス、吳(太子)侍皇(太子)飲博ト是ナリ、後世ハタゞ天子バカリ、太子又皇太子ト稱シテ、諸侯ハ世子ト稱ス、嫡子トイフハ、本妻腹ノ子ヲイフ、通メ總領ヲイヘ、シカレ、二男三男ニテモ、嫡室ヲ子ナレバ、嫡子トイハル、ナリ、嫡庶ト對ス、長子トイフハ

年ノイツチノウヘノ子ナリ、嫡室ノ子ヨリ年ウヘノ庶子ナ
 レバ、庶長子トイフ、嫡妻ノ子ニテ、年モイツチノ上ヘナレバ、
 嫡長子トイフ、元子トイフハ、朱子大學ノ序ニ、天子之元子衆
 (子)トイヘリ、元ハ本始ノ義、チヤクシノトナリ、天子之トイフ
 ニヨリテミレバ、天子ニカギラズ、貴賤通稱セラル、コトバ
 ナリ、ソノ外冢子トイフアリ、冢子未食而見、適子庶子已食
 而見、則禮内里克諫曰、太子奉冢祀社稷之粢盛、夫冢大也、故曰冢
 (子)左閔公二年

寡人、不佞、小子、小人、
 下賤、對シテハ、吾コトヲオレトイフ、オノレノ義ナリ、貴者

ハ對シテハ、ワタクシト稱ス、公私ノ義也、コレ近世ノト也、天
 子ハ朕トイフ、王侯ハ寡人トイフ、寡ハ少ナリ、寡徳トイフ謙
 辞也、曲禮云、諸侯自稱曰寡人ト、又孤トイフアリ、孤不天南
 面稱孤ノ類ナリ、玉藻云、凡自稱小國之君曰孤、孤寡ノ義ナリ、
 又曲禮ニ、諸侯與民言、自稱曰寡人、其在凶服曰適子、孤ト、コノ
 字ハ、孤子ノ義ナリ、不佞トイフハ、晉語ニ、夷吾不佞トアリ、佞
 ハ才也、故ニ自不才ヲ稱シテ、不佞トイフ、後世書簡ノ套語ニ、
 通稱スルト也、小子ハ門人小子ノ義ナリ、今拙者トイフ意
 ナリ、又小生、鰥生トモイフ、小人ハ田野ノ小民、輕キ者トイフ
 ト也、カカ身ヲ謙稱ス、左傳ニ、賴考叔對曰、(小人)有母、皆嘗(小人)

之食矣ト上ノ小人ハワカ_レ也下ノ小人ハ泛ク下々ノ_レヲ

イフ

師先生

師匠ノ_レヲ古ハタ、師ト云温故而知新可以為_レ師矣政為三人

行必有我師焉而述人之患在好為人師離婁子子歸而求之有餘師

告子トイフガゴトキミナワガシハヨウノ_レ也又子トイフ

コトハ古シ孔門ノ弟子ミナ夫子ヲ尊テ子ト稱スルヲミテ

シルベシ後世程子朱子トイフ其遺意ナリ先生トイフハ先

生長者トイヒ古ハヒコク尊長ノ稱ナリ有事弟子服其勞有

酒食先生饌為宋惺將之楚孟子遇於石丘曰先生將何之告子

ノゴトキミルベシ曲禮ニ云從於先生不越路而與人言云々

先生書策琴瑟在前坐而遷之陳氏云呂氏曰先生者父兄之稱

有德齒可為人師者猶父兄也故亦稱先生以師為父兄則學者

自比於子弟故稱弟子ト先生ノ稱遂ニ師匠ノニトナル先

生諸生門主ト對用ス佛家却テ師弟子ノ古稱ヲ失ハズ

門人 門生 弟子

テシノ_レヲ門人門生トイフハ師門ニ入ル人師門ニ入ル諸

生ト云_レ也互鄉難與言童子見門人惑述子游曰子夏之門人

小子當洒掃應對進退則可矣張子如キ古ヘヨリ屹トテシノ

ト也子弟トイヘバワカ子ヤ弟ノ_レニナリ弟子トイヘバ門

人ノ一也、師ヲ父兄ニ比スレバ、門人ハ弟子ニ準ズル也、哀公
 問(弟子)孰為好學孔子對曰有顔回者也(公孫丑曰若是則弟子)
 之惑滋甚(公孫丑)コトキ、コレモコトバ古シ、前段ト合セミル
 ミシソノ内門人ハ、ワガ師ヘナラデハ稱セラレス、弟子ト云
 コトバ、ワガ師ニアラズ氏先ヲ父兄ニ準ズルノ人ナレバ、
 卑下ノコトバニイハル、ナリ、又後生トイフ字、詩經ニアリ
 後嗣子孫ノ一也コレヲ準メソノ門流ノ弟子、直ニ學ヲ授カ
 ラザルハ、後生ト稱スルナリ、

壽老耄壯艾強

壽ハ、コトブキ、又イハチナガシト訓ズ、年齒ノ久シキ一也、又

長壽ニカギラズ、トシバイノ一也、壽イクツトモカク、シカレ
 ドモ、短命ニハイハレズ、老ハトシノヨル一也、イヅレモ、年數
 ニカ、ハラズ、曲禮ニ、三十曰壯、四十曰強、五十曰艾、六十曰耆
 七十曰老、八十九曰耄、百年曰期、アリ、壯ハ、氣血ノ壯ナル
 タイス、強ハ、智慮ノ強タイフ、又一説ニハ、氣力ノ強タイフ、艾
 ハ、髮蒼白色如艾ナリ、ミナ年數ニヨリテイフ也、壯老ハ、又年
 數ニカ、ハラズ、廣クソノ年比ニモ用ユル也、艾又小艾トツ
 ヲキ、美好ノ婦人タイフ、孟子ニアラハル、耄ハ、易ノ大耄詩ノ
 逝者其耄等也、馬氏ノ説ニハ、七十ト注ス、毛傳ニハ、八十ト注
 ス、又耄ヲ説文ニハ、九十トアリ、釋名ニハ、七十トアリ、イヅレ

モ、散用局用アリ

幼弱稚兒

曲禮云、人生十年曰幼、二十曰弱トアリ、幼ハ幼少ノ義、當歳ヨリ十九マデヲイフ、弱ハイマダ壯實ナラザルナリ、幼ハイトケナシトヨム、弱ハロカシトヨム、ヒロクイヘバ、年數ニカギラズ、大概ソノ年輩相應ニ、幼弱ヲ別ツト也、兒ハ年數ニヨル字ニアラズ、チゴトヨム、チノミゴノ義也、韻會ニ男曰兒、女曰嬰トアリ、嬰兒トツマケテ、ヒロク初生ヨリ、四五歳マデハイハル、ナリ、稚ハ小ナリ、長稚ト對ス、稚松稚子ナドイヘハ、皆ヲサナキ義アリ、禾ニ從ヘバ、本義ハ草木ノロカバヘヨリ、轉

用スルトニヘタリ、

居士 處士 道人 山人 野人 散人

隱者ノ稱ニ居士トイフハ、禮記玉藻篇ニ、アラハル、曰居士錦帶、弟子縞帶ト、鄭氏曰、道藝處士也ト、居處ノ義、仕エサルモノ、稱ナリ、歐陽子官ニアル内ニモ、戲ニ隱者ノ風ヲ慕テ、六一居士ト稱ス、學者ノ稱スルハ、禮ノ文ニ據テイフ也、佛家ニハ、仕官ノ者ヲ宰官トイヒ、浪人者ヲ居士トイフ、コレハ翻譯シテ、配當シタルモノ也、淨名居士、龐居士ナドイフ、遂ニ居士号トイフヤウニトルナリ、東坡居士ナドハ、禪參シテイヒタルモノナリ、禮ノ文ニ據ルニアラズ、處士トイフハ、孟子ニ、處士

横議トアリ、出處ノ處ナリ、處士處女皆身ノ片付ヌトナリ、居
士ハ隱者ノ稱ニカ、リ處士ハ仕官ヲ望ミ、浪人一テ居ル者
ヲイフ、道人ハ道ヲ得ル人ト云フ也、儒家佛家トイフ、道者
トイフモ全ジトナレズ、專佛家ノ稱ニカ、ル、仍習レノカヤ
ウニ別テ用ルナリ、山人野人ミナ山野ノ鄙人トイフ意ナリ、
隱者閑人ノ稱ナリ、散ハムダナルモノヲ散トイフ、散官散木
散馬トイフ通りナリ、唐ノ陸龜蒙カ、舟、賣、東、書、茶、竈、筆、林、釣
具、往、來、時、謂、江、湖、散、人、ト、ヤクナキ無用ノ人トイフナリ、
不肖 小人 佞人 惡人
不肖ノ字、中庸ニアラハル、賢不肖ト反對ス、行ニ就
テイフ、肖

ハ似也、不似トイフト全ジ、人ナミナラヌ後ニ立ズトイフ
也、又吾身ノ一ヲワカテニイヒ、或ハ先祖ヘ對ス、イヘバ、謙退
ノ辭ニナル也、小人ハ君子ノ反ナリ、君子ヲ在位ニイフ、片ハ
小人ハ、田野ノ小民ナリ、君子ノ徳ニ就テイヘバ、小人ハ在位
ノ人トテモ、田野小民ノゴトキ、氣象アル人ヲイフ、佞人ハ、口
利口ニテ、惡シキヲヨキヤウニイヒナシ、人ニコビヘツラ
フテ、ヨキ人ノヤウニ見ユル人ヲイフ、佞ヲ利口トスルユヘ、
不佞トイヘバ、不才トイフト全シ、ワガ身謙退ノコトバ也、至
佞奸佞トイフ、片ハ、又甚シキ也、惡人ハ、善人ノ反也、コレハカ
クレマカヒモナク、惡シキ人ヲイフ、

泉字彙卷之九
三十三
綿絲樓藏反

人民農氓

人ハ、貴賤男女、凡ソ人タルモノヲ皆イフコトバ也、シレタル
 一ナリ、又國人ヲタミトヨムハ、後嵯峨帝ノ諱、邦仁ヲサクル
 ヨリ始ルトイヘリ、民ハ、公羊傳ニ、士農工商ヲ四民ト云、ソノ
 注ニ、德能居位曰士、辟土殖穀曰農、巧心勞手、以成器物曰工、通
 財貨曰商トアリ、士庶人ハ、ミナ民トイフ、コレハ、泛クイフコ
 トバナリ、苟メイフキハ、民ハ農民ノトニナル也、又仕ヘザル
 モノヲ民ト云、詩經ニ、先民トイフ類也、農ハ、百姓ノ一也、氓ハ、
 ルラウノ民也、土着ニアラズ、孟子ノ願受一廛而為氓、又願為
 聖人氓、周禮ノ為田里安氓、ナドイフニテシルベシ、

美人佳人麗人

美人トイヘバ、婦人ノキリヨウヨキヲイフ、又生付ノ行義ナ
 ルヲイフ、美ハ惡ノ反ナリ、德ニモカ、リ、容貌ニモカ、ル、婦
 人ノ美德ハ德ニモアリ、生付ニモアリ、佳人トイヘバ、佳ハヨ
 シトイフ一故、美トイフヨリヤ、オトル、趣ニカ、ル字ナリ、
 佳興佳辰ナドノ意也、又麗人トイヘバ、生付ノウルハシキノ
 ミナラズ、姿首容貌衣服花ヤカニカザリ、美ノ光輝アルヲイ
 フ、麗人行美麗麗華ナドイフニテシルベシ、ミナ女子ノ一也
 又美人佳人ハ、男子ヲイフ一アリ、秋風辭ニ、懷佳人兮不能忘
 坊間ノ注ニ、佳人謂群臣也、ト、簡兮ノ朱傳ニ、西方美人託言以

指西周之盛王、如離騷亦以美人目其君也。トアリ、本文ハ託言ナレド、離騷ノ文ハ、即男子ヲイフ、コレニテモ、美人ハ美德ノ人也、佳人ハ美人トイフヨリヤ、輕キヲミルベシ、

身已親自

身ハ躬也、我也、自謂ナリ、モトワガミノ一也、其身正不令而行、(身)不行道、不行妻子ノ如キ、ミナワガミヲワレトイフコトバナリ、聖人多クハ身トノ玉フ、已トハ人ニ對シテイフコトバ也、舍己從人、已欲立而立人也、為己為人ノゴトク、人ヲ相手ニシテイフナリ、親ハ人ニサセズニ、シタシクモツカラト云一也、(親)於其身、為不善者、君子不入也、后妣齊戒、(親)東鄉躬桑、月ト

イフゴトク、ワガジキニ、不善ヲシタト云一也、自モ已ナリ、躬モ親ナリト注ス、人カマハズニ、ワレトワガテニスル一也、君子以(自)強、(自)織之與ノ類ナリ、

我吾余予

ワレトヨム字、陸氏ノ説文長箋ニ、我ハ自身ト注ス、彼我人我物我ト對スル通り、人ニ對メ、アイテ向ノ稱ナリ、吾ヨリハキツトシタル意アリ、吾ハ長箋ニ自道ト注メ、今ノ人ノ手前ト云辭ニテ、ワガ身一分ノ上ニ就テイフ、自稱ノ辭也、正字通品字箋ノ説ハ、吾我一也、古文ニハ、隨口互ニ用トアリ、コノ説ハ、アヤマリ也、左傳ニ、我(張)吾三軍、而被(吾)甲兵トアリ、我ハ我

國我朝ナドノ我ニテ、ワガミ一分ノコトニアラズ、先方ヘ對
メ、ヒロク此方ノ一ヲイフ、下ノ吾ハ、手前一分ノコト也、オレ
ガ三軍、オレガ甲兵ト云フ也、ワガ國、ワガ君トカクニ我國我
君トカケバ、相手アリテイフコトバ也、吾國吾君トカケバ、手
前一分ニテイフコトバ也、下ニノスル諸文、ミナコノ例ヲ以
テミルベシ、余予トモ吾ノ字ノ意ニ近シ、説文ニ、予、相推予也、
余詞之舒也トアリ、此ニテソノ趣ヲ辨ズベシ、予余ハ古今ノ
字ト云説アリ、此説ハ非ナリ、又楚辭九章ノ内、余吾並稱ス、朱
子ノ説ニ、詳其文意、余平而吾倨也ト、コレ等ノ辨、中國ニテモ
マギラハシキコトニヤ、諸説アル也、各古文ノ例ヲ下ニア

ク考テシルベシ、(我)有好爵、(吾)與爾靡之、中人涉(印)否(印)須
(我)友、能有(我)也、非助(我)者也、於(吾)言無所不説、進如有用(我)
者、(吾)其為東周乎、論(我)不欲人之加諸(我)也、(吾)亦欲無加諸人
上全二三子以(我)為隱乎、(吾)無隱乎爾、太宰知(我)乎、(吾)少也賤
如有復(我)者、則(吾)必在汶上矣、視(予)猶父也、(予)不得視猶子
也、非我也、夫二三子也、上共同(我)知言(我)善養(吾)浩然之氣、孟
彼大夫也、(我)大夫也、(吾)何畏彼哉、彼以其富、(我)以吾仁、彼以其
爵、(我)以吾義、(吾)其誰也、(吾)何為不豫哉、(吾)為之範、(我)馳驅
終日不獲一、此非(吾)君也、何其聲之似(我)君也、舜何人也、(予)
何人也、上共同(我)食(吾)言、左(吾)喪(我)子、莊(吾)無糧、(我)無食、上全

孫本字訣卷之九

綿絲樓藏版

名余曰正則兮字余曰靈均騷離 王曰取吾璧不予我城奈何史

女汝爾而名乃

爾汝ノ類、十對我之稱ナリ、各別ノ差ナシ、正字通云、王柏正始之音曰、而之為爾、爾為汝、汝之為若、皆高諧聲也、唐音古音曰、古人讀若字為汝、故傳記之文、多有以若為汝者、史記項羽本紀云、吾翁即若翁、漢書云、吾翁即汝翁、此可據也、ト乃モ汝爾ノ稱也、又彼也、別ニ廼ニ作、音義全、各古文ノ例ヲ下載ス、予欲左下有民、汝翼益、萬世永賴、時乃功禹、惟乃之休、喜乃丕績、上共全 王若曰、格汝衆、予告汝訓、汝猷黜乃心、無傲從康、庚 誕

以爾衆士殄殲、乃讎、爾衆士其尚迪果毅、以登乃辟、泰 而康而

色洪範○傳汝當安汝顏色 女與回也、孰愈、吾與女弗如也、公冶 賜也

女以予云衛靈公 以吾一日長乎爾、毋吾以也、先 爾為爾我

為我公孫丑 南方之強與、北方之強與、抑而強與、中庸○注 公

曰叔舅、予女銘、若纂、乃考服、祭統○注乃猶汝繼 余而所嫁婦

之父也、左傳注 吾語若、莊 令之曰、汝知而心與、左右手背乎

婦人曰、知之、史孫 吾與若、北面懷王、項籍傳 始吾從若、飲我

不盜而璧、若若我、若善守汝國、我顧且盜、史張 又汝知而

心、爾衆士殄殲、乃讎、儀傳 文ノゴトキハ、上ノ爾汝ハ、我ニ對スル

コトバ也、下ノ而乃ハ、上ニイハユル、彼ナリ、先ノ人ヘ、ソチガ

心、ソチガアダトイフ也、乃祖乃父ノ乃ナリ、女ト汝ト全ジ、汝ハ、モト水ノ名、借テ爾汝ノ字トス、或ハ、尔ニ作ル、畢竟今日文ノ上ニテハ、爾汝女而相通用ス、ソノ内汝爾ノ字ヲ用ヒ、若モ同ジ、乃ハ乃祖乃父ノ意ヲ心得ベキナリ、又吾子以謂如此可乎歐答孫正之書ト、コレモソコモト、サシテイフコトバナリ、

人者

知者仁者聖者愚者トイフハ、ソレジヤト指イフ辞ナリ、ソノ一ヲ專ニスル、一局ノコトバ也、以承三聖孟滕文下者、豈好辨哉、云類ミルベシ、知人仁人聖人愚人トイヘバ、ソノ徳アル人ト云一也、意ヒロシ、又能者勇者儒者隱者ナドイフモ、ミナソレ

ヲ專ニスル故也、小人幽人短人佳人ノゴトキニ、者ハ用ラレズ、サヤウナル人ユヘ、人トイフ、ソレヲ專ニスルモノニ非レバナリ、有事君人者盡心トカケバ、人ハソノ人躰ヲサス下ノ者ハソレヲ主トスルモノナリ、有某者ノ者ノ字ト全ジ

人工匠

諸職人ノ稱ニ、人工匠ノ別アリ、異義アルニアラズ、時代ノ別ナリ、周ノ世ニハ人ト云、考工記中、并ニ孟子ニ、矢師ヲ矢人トイフ、唐ニハ工トイフ、通典ニ箭工トイフ、明ニハ匠トイフ、會典ニ、箭匠トイフ、ミナ全ジ也、此方ニテハ、唐ノ時ノ例ヲ用ユベシ、又汚者屠者トイフ、コレハ時代ノ異ニモアラズ、ソレ

ヲ專ニスルモノトイフナリ、餘ハ例推スベシ、

仇讎敵

仇讎ハアダトヨム、敵ハカタキトヨム、三字凡ニサキト、コノ方ト、タイクノ言バ也、仇ハ仇讎トツバク、此方ニイフ、カタキ討ナトノ字、コレニヨロシ、敵ト云ヨリカロクメ、怨意深シ、漢書游俠傳ニ、正復讎取仇、猶不失仁義、何故遂自放縱為輕俠之徒乎トアリ、左傳ノ怨耦曰仇ト云ヲミレバ、サシ向ニテ、怨ノ出来ルヲ仇ト云也、讎ハ本ムクユル義、又犯凡注ス、タガヒニイヒヤブリテ、アダヲムクユル意ノキ用ル字也、敵ハ大敵強敵トツバキ、軍ノ敵味方ト云通り也、仇讎ノ字ヨリハ、アラク

メ、大ギヤウナリ、

宮室

宮殿堂館家室宅亭軒齋屋舍居房廬窩

居宅ノ名甚多シ、中國ト我土ト、制造モカワリ、又時代ノ別モアレ凡ソノ用全ジケレバ、相通ズベシ、先ヅ宮トイフハ、古ヘ貴稱メ、イヘヤシキヲ宮トイフ、儒有一畝之宮ノゴトキ是也、秦ニ至テ、始テ定テ、至尊所居ノ稱トナル、漢唐以來ハ、宮トイヘバ、五柞宮大明宮ノゴトキ、廣大ナル一カマエノ御門ノ總名也、殿ハ、堂ノ高大ナル者ナリ、天子宸居ヲ殿ト稱ス、大極殿、便殿ナドノ類也、殿ハ宮中ノ一ムネノタチ物ナリ、一クルワ

ヲイハズ、又臣庶ノ通稱ニ非ズ、宋明ノ稱ハ少々異アリ、宮殿ノ辨ハ、蓋簪錄ニ詳ナリ、可考堂ハ、殿ノ狭少ナルモノ也、オモガシキヲ堂トイフ、政事堂、畫錦堂ト名ヅクルハ、書イン座敷ノ名ナリ、一ヤシキノ名ニアラズ、貴賤通稱也、又堂室トイヘバ、モハヤ堂ナリ、ウシロ庇ハ室ナリ、エンガワビサンハ、廡ノ類也、然レモ中國ノ制、堂室ハ一ムネ也、兩廡ハ、ハナレテ建ルナリ、近世唐物類ニ、某堂ト記スハ、コノ方ノ何屋ト云ガゴトシ、館ハ、客舎ナリ、公館、客館トドイフ、人ヲヤドス一屋シキノ一也、後世ワガヤシキヲ停雲館トド、名ヅクルアリ、堂ト名ヅクルト、ソノ趣コトナリ、家ハ、一門ノ内ナリ、イヘ、イヘ、イヘ、イヘ

ストヨム、室ハ、宮室トイヘバ、イヘノ通稱ナリ、堂ハ前ニテ物ヲオカズ、室ハ、後ニテ物ヲ實ル、畢竟勝手ノ方ナル故、室家トイヘバ、夫婦内外ノ居トニコナリ、ソレヨリ妻室ノ稱アリ、間ヲ悟言室トド、名ヅク、又安事一室トドイフハ、勝手内証ノ小間ナリ、室家ノ義ニアツカルニアラズ、宅ハ、居處ヲ營スル也、所托ノ義ナリ、民宅ト、宅屋、宅居、宅五畝之宅ノ類ミルベシ、亭ハ、木行旅宿人之所館也、風俗通ニアラハル、道路ノ休息所ナリ、邀月亭トド名ヅクル片ハ、チニ、物ミ、茶屋ノ類、小サク風雅ニテ、遊宴スルモノヲイフナリ、軒ハ、本車ノ名ナリ、イエノ一ニイフハ、檐宇之末曰軒ト注ス、ノキトヨム、居室ヲ緑筠軒

ト名ツクル類ハ、堂齋廬窩ナドイフトハ、ソノ趣異ナリ、花鏡ノ序ニ、丁澎題於扶荔堂東軒トアリ、コノヤウスニテシルベシ、ツケセサシ、縁ガワノ小マナリ、齋ハ字典ニ、燕居之室曰齋トアリ、居間ノトナリ、書齋トイヘハ、學問所ナリ、屋ハ居ナリ、舎ナリ、板屋白屋屋宅ナドイフ通り、人ノスマヒ所、ヤカタノト也、書屋トイヘハ、學問所ナリ、書齋トイフヨリカロシ、梅花書齋トハ名ツケズ、梅花書屋ナド、ハ、多ク名ツクルナリ、舎ハ市居ナリ、旅舎客舎ナドイフ、ヤトス、ヤドルトヨム、ヤドノ義ナリ、舎館同ジヤウノ義ナリ、ソノ内、舎ハハタゴヤ館ハ逗留屋シキ也、某館某舎ト名ツクルモ、本ハ入ヲ集メ置、ヤトス

義ヨリイフナルベシ、居ハ居處安居ノト也、潜確居ト名ツクルルキハ、イドコロト云意ナリ、邑居民居ナドツツク字也、房ハ説文ニ、室在旁也トアリ、小部屋寮ノ類ナリ、禪房山房ナド云、廬ハ、田中ノカリイホリ也、又粗屋ノ総名ナリ、小人剝廬先人之敝廬ナドイフ、敝廬ハ、謙ノ辞ナリ、又竹廬松廬ナド居處ニ名ツケ、又別号トス、窩ハ、穴居ナリ、窟ナリ、字彙ニ、凡別墅獨處皆名窩、宋邵雍有安樂窩ト云、窟モ亦居處ニ名ツク、山居ノセマキ室ニ宜シ、庵ハ、小草舎也、又曰、園屋為庵、字或作菴、クサブキノ、小サキ小屋也、居室ニ名ツケ、又直ニ號ニ用ヒ、藏六菴晦菴ナドイフ、至テワビテノト也、又接木ノ竹ノ皮ヲカ

フセルヲ、歐集ニ弱菴トアリ、僧尼ノ菴室ニカギルヲニアラズ、篠ト云モ小屋也、閣邊小屋ト注ス、樓閣ニ連ル小座シキ、數奇屋ノ類ナリ、唐墨ニ有竹篠ト題スルアリ、ソノ恰好ニテ名ヅクベシ、此外、樓閣臺榭寺院府署書院精舍解嚴觀寺ノ名稱甚多シ、一々解スルニ暇アラズ、臨文命室ノ間、各ソノ義ヲ考テ用ユベシ、相混用スルコトナカレ

庠序學校

孟子曰、設為庠序學校以教之、庠者養也、校者教也、序者射也、夏曰校、殷曰序、周曰庠トコレヲ正説トスベシ、王制ノ文ニハ、天子命之教、然後為學、小學在公宮南之左、大學在郊、天子曰辟雍

諸侯曰頤宮、又曰有虞氏養國老于上庠、庶老于下庠、注、上庠右學大學也、下庠左學小學也、又曰夏后氏養國老于東序、養庶老于西序、注、東庠大學在國中、王宮之東西、小學在西郊、又米廩ト云ハ、明堂位ニ有虞氏ノ庠ナリトアリ、コレミナ漢儒コノカタノ説ナリ、又學校トイヒテ、庠序ノ總名ナリ、校ハ學宮ノ名、鄉學ヲ校トス、左傳襄三十一年ニ、鄭人游于鄉校以論執政、又漢平帝紀ニ、郡國曰學、侯國曰校トアリ、横モ學舍ナリ、鬻ト通ス、後漢鮑德傳ニ、修起横舍トアリ、儒林傳ニ、又修鬻宇ト云文アリ、コノ字ハ古クハミアタラズ、又塾ノ名アリ、ミナ時代公私ノ辨別ヲ考ヘミルベシ、

藏倉廩府庫

藏ハ珍藏藏書ナドイフ通り、何ニテモ、物ヲオサメ置ク也、
 守藏トイヘバ、大事ノ物ノ入テアル處ノ番ヲスル也、曲禮
 ニ、在府言府、在庫言庫トアリ、集注ニハ、府庫者貨器藏貯之異
 號トアリ、コレニテハ、ヒトツナリ、府ハ寶藏財賄ノ處ナリ、カ
 ネグラ、カルモノクラナリ、庫ハ兵器車等ヲ藏メ置處ナリ、釋
 名ニ、庫ハ舍ナリトアリ、コレニヨリテミレバ、府ヨリハ粗ソ
 ウニ建テ、何ニテモ道具ヲ入ル、クラトミヘタリ、唐ノ四庫
 ハ、經史子集ノ書ヲ入ル、クラ也、六典ニ云、祕書郎掌四部之
 圖籍、分庫以藏也、以甲乙景丁、為之部目、云トアリ、倉廩ハ、コ

メグラ也、倉有屋廩、禮記ノ注ニハ、穀藏曰倉、米藏曰廩トアリ、
 倉ハヤネナクシテ五穀ヲカリマ、ニテアツメ置處廩ハヤ
 ネアリテコナシタル穀ヲ藏ル處ナリ、

寺院觀

寺ハ、モトヤクヤシキノ也、漢ノ太常寺光祿寺ナド、云通
 リナリ、明帝ノ時、西域ヨリ白馬經ヲ馱シ來リ、初テ鴻臚寺ニ
 止ル、遂ニ寺ノ名ヲトリ、創テ白馬寺ヲ立ツ、ソノ後浮圖ノ居
 ルトコロハ、皆寺ト云、院ハ、ゲルリニヘイノアル、一ヤシキノ
 也、唐ノ五王院麗正書院學士院又儒者ノ居ル處ヲ書院ト
 云ナリ、字書ニ浮屠所居曰僧院、道流所居曰道院トアリ、イツ

レヨリ初ルヲシラズ、歐公ノ詩ノ題ニ、題淨慧大師禪齋、自注ニ、景德寺普光院トアリ、寺ハ總稱院ハ寺中ノ一クルワ、齋ハ院中ノ一マナリ、作リヤウニテ、寺院分ル、ニアラス、又房トイフモ、院中ノ一ハヤナリ、觀ハ樓觀モノミノ一也、史ノ封禪書ニ、仙人好樓居、上令長安、作蜚廉桂觀、甘泉作益延壽觀トコレヨリコノカタ、道士ノ所居ヲ觀ト云、コノ方ニハ無キト也、又說鈴抄ノ内ニ、道士ノ所居ヲ觀ト名ヅクルトハ、漢ノ武帝ノ昆明觀ヨリ始ルトイヘリ、

園苑園圃

園ハ、ヒロキソノナリ、ダフルリニネリ、ヘイヲカケマワシ、ソノ

中ニ禽獸草木ヲ蕃育シテ游觀射獵ノ場所トスルナリ、苑ハ園ト全シテ、ヘイノナキモノナリ、說文云、園苑有垣也、初學記云、園猶有也、有藩曰園、有牆曰園、一曰以域養禽、周禮地官園人疏、古謂之圃、漢謂之苑、師古曰、養鳥獸曰苑、苑有垣曰園、文王ノソノヲ靈園ト云、齊宣王寡人之園トイフ、古ハハイテカケタル故園ト云、漢ニ上林苑アリ、明ニイタリテモ、西苑トイフアリ、漢ヨリ後ハ、苑トイフハ後世ハ省略ニオモムキ、ヘイヲカケヌ故ナリ園ハ、果ヲ樹ルソノナリ、ダフルリニカキヲイフ也、又ニワサキヲ小園ト云、花バタケヲ花園ト云、家園藥園ノ類草木ヲウユルニハナリ、詩ニテハ、平仄ニテ苑園

通用ス、文ニテハ別ツベシ、ソノ中苑ハ文苑菽苑等ニ轉用ス
ハナリ、圃ハ野菜ヲ種ル所ナリ、詩ニ折柳樊圃ト云、論語ニ請
學為圃、曰吾不知老圃ト云、周禮ノ注ニ、樹果菑曰圃、園其樊ア
ル也ト、園ニハ果木ヲウヘ圃ニハ野菜ヲウエルナリ、圃ハハ
タトヨムベシ

門戸

合兩戸謂之門ト注ス、兩ビラキノ大カドナリ、又總シテ、物ノ
出入スル口ヲ門ト云、戸ハ一扇門為戸ト注スカタビラキノ
露次ナリ、又内ヲ戸ト云、外ヲ門ト云、易ニ戸庭ト云ハ、ツボノ
内ナリ、門庭ト云ハ、ゲンクワン前ナリ、又編戸ノ戸ハ、民家一

軒ノコトヲイフナリ

椽桶

タルキトヨム字、桶ハ、四角ナルタルキナリ、又方言ニ、周謂之
椽、齊魯謂之桶ト、桓宮桶、松桶ナト、經書ニアラハル椽ハ、丸キ
タルキナリ、左傳ニ、大宮之椽、廬門之椽トアリ、ソノ註ニ、圓曰
椽、方曰桶トアリ、又采椽トイフハ、皮付丸木ノタル木也、椽モ
タル木ナリ、周ノ世ニイフヨリ、始ルトミヘタリ、又屋椽椽栢
トカキテ、タル木ノコナリ、ソノ内椽ノ字ハ、注ニ屋角トモア
リ、スミ木ノコニ用ユルナリ

楹柱

楹ハ、説文ニ柱ナリ、徐言、盈々對立之秋ト、詩經ニ有覺其楹トアリ、殿堂ナドノキツトシタル所ノ丸バシラノ、フトキ物ナリ、一通ノ所ニハ用ラレバ、柱ハ、ハシラノ總名ナリ、廣ク通用マイワル、ナリ、大ナルモイフ、又ツカヲ梁上ノ短柱トイフガ如キ、小キモイフナリ

窓牖

字彙ニ、在牆曰牖、在屋曰窓、徐曰、但穿明則曰窓、牖者更以木為交楯也ト雍也ニ自牖執其手曰云、盡心ニ有業屨於牖上、易ニ、納約自牖ト、窓ハ壁ニツキテアカリヲトルマド、牖ハ中レシ、又高ベイ、廻廊堂側ナドノ中ヨリ、上ヲアケテコヲ入レ

タル所、或ハ格子ノ類ナリ、

牆藩籬垣屏

牆ハ、説文ニ垣蔽也ト斗リ注ス、書經ノ雕牆、論語ノ蕭牆ナドニヨリテミレバ、ツイジ、ネリベイノ也、又垣ノ字注ヲ考レバ、垣ハ、牆也、卑曰墻、高曰墉トアリ、墉ハ即牆ナリ、爾雅ニアラハル、コレニヨリテミレバ、垣ハ、ネリベイノヒクキモノ也、左傳ニ、壞垣ト云テアリ、又掖垣、紫垣ナドカク、別ニ高大ナルモノトハミヘズ、牆ハソノ高クシテ、キツトシタルモノ也、籬ハ、以茶竹作之、疏離々也、マセガキ、茶人ノ庭中ノカキノ類、ミナ籬トイフベシ、藩ハ、字書ニハ、籬也ト注ス、爾雅ニ樊藩也、疏ニ

樊圃之藩也トアリ、易ニ羝羊觸藩トアリ、栗丸太ニテ造リタルサクノ一也、小サキモイヒ、廣大ナルモイフ、藩鎮藩屏ナドイフハフセギト云義ヲミルベシ、又屏ハ内外ノミカクシナリ、今ノ佛寺ノ門ト堂トノ間ニ、ヒキクツイジ又ハイケガキヲスル類也、ソノ外屏風ト云類、シキリオ、ヒノ一也、此方ニイフ高屏ノ一ニハ不當、高ベイハ、垣ノ字、又ハ土牆トカクベシ、石カキハ、石牆トカクベシ、苾子園ノ画傳ニアラハル、

闌干檻

闌ハ、エシ、キダハシナドノ高ランナリ、木勾闌ト云、又欄ノ字ニ作ル、干ハ、闌版ノ間ナリ、高ランノハツレギハ也、檻ハ、今ノ

堂ノ柱ノ間コトニ、上ニ連ジテ、キ、中ヲアケ、下ヲ立ツ、コノコマヨセノヤウニ造リ、又ハ板ニテ造リ、出ハノナラヌ處ナリ、凡ソコノ類ハ、ミナ檻トイフ也、闌干闌楯之横斜幹也、品字トアリ、

操觚字訣卷之九終



